

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員等による授業科目

科目	小児援助論Ⅱ			担当講師	専任教員
学科名	学 年		単位(時間数)	授業の種類	実 施 時 期
第二看護学科	2年		1(30)	講義	令和5年前期
科目目標 小児に見られる主な症状や健康障害のある小児の看護の基本を習得する。 健康障害をもつ小児と家族の看護の看護過程の展開ができる。					
授業概要 子どもに多く見られる症状の特徴と症状に対する子ども・家族への看護について理解する。 また、代表的な子どもの疾患について身体機能の特徴を想起しながら病態・治療・症状・看護について理解する。					
回数	時間数	授 業 内 容	回数	時間数	授 業 内 容
1	2	I 小児の主な症状に対する看護 1 発熱を伴う子どもの看護 1) 発熱の原因, アセスメント 2) 子ども・家族への看護	11	2	III 健康障害をもつ小児と家族の看護過程 1 基本的欲求の充足・未充足の判断
2	2	2 嘔吐・下痢を伴う子どもの看護 1) 下痢・嘔吐の原因, アセスメント 2) 子ども・家族への看護	12	2	2 ニード分析, 看護問題の抽出
3	2	3 脱水を伴う子どもの看護 1) 脱水の原因, アセスメント 2) 子ども・家族への看護	13	2	3 看護計画
4	2	4 呼吸困難を伴う子どもの看護 1) 呼吸困難の原因, アセスメント 2) 子ども・家族への看護	14	2	4 一日の看護計画立案
5	2	5 けいれん・意識障害を伴う子どもの看護 1) けいれん・意識障害の原因, アセスメント 2) 子ども・家族への看護	15	2	5 プレパレーションの実施 6 まとめ
6	2	II 小児に見られる主な健康障害と看護 1) 感染症をもつ子どもの看護			筆記試験
7	2	II 小児に見られる主な健康障害と看護 1) 小児の感染症 2) 小児の腫瘍性疾患 (外部講師)	【テキスト・参考書】 ・小児看護学概論/小児臨床看護総論, 医学書院 ・小児臨床看護各論, 医学書院 ・パーフェクト臨床実習ガイド小児看護, 照林社		
8	2	II 小児に見られる主な健康障害と看護 3) 小児の呼吸器疾患 (外部講師)			
9	2	II 小児に見られる主な健康障害と看護 4) 小児の循環器疾患 (外部講師)			
10	2	II 小児に見られる主な健康障害と看護 5) 小児の消化器疾患 (外部講師)			
			【成績評価の方法】 ■ 筆記試験 ■ レポート ■ ワークへの参加度		

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員による授業

科目	母性援助論Ⅱ			担当講師	専任教員
学科名	学 年	クラス	単位 (時間数)	授業の種類	実 施 時 期
第二看護学科	2年		1単位 (30時間)	講義	令和5年前期
科目目標 褥婦・新生児と家族を理解し、健康的な生活が送れるための援助や新しい親役割取得への援助、新生児が健康に経過するための援助を理解する。					
授業概要 産褥期における褥婦の特徴を理解し褥婦の退行性変化、進行性変化、母親役割の取得、家族関係の再構築への看護について理解する。 新生児の胎外生活適応過程について理解し、新生児が順調に成長・発達するための看護について理解する。 褥婦・新生児の看護過程について、ウェルネス思考の視点で考えることができる。					
回数	時間数	授 業 内 容	回数	時間数	授 業 内 容
1	2	1 産褥期における看護 1) 産褥経過 ①産褥期の身体的変化 ②産褥期の心理・社会的な変化	10	2	4 新生児における看護 1) 新生児の生理 ①新生児とは ②新生児の機能
2	2	2) 褥婦・家族のアセスメントと看護 ①産褥経過と健康状態のアセスメント	11	2	2) 新生児のアセスメント ①新生児の診断 ②健康状態のアセスメント
3	2	②身体機能の回復および退行性変化への看護	12	2	3) 新生児の看護 ①出生直後の看護 ②退院時までの看護 ③退院時の看護
4	2	③児との関係確立への看護 ④育児にかかわる看護	13	2	5 新生児の異常と看護 1) 新生児仮死 2) 分娩外傷 3) 高ビリルビン血症
5	2	⑤家族関係再構築への看護 3) 施設退院後の看護	14	2	6 新生児の看護過程
6	2	2 産褥の異常と看護 1) 子宮復古不全 2) 産褥期の発熱 3) メンタルヘルスの問題	15	2	7 褥婦・新生児に必要な看護技術
7	2	4) 異常のある褥婦の看護 5) 帝王切開術後の看護 6) 児をなくした褥婦・家族の看護	【テキスト・参考書】 ・系統看護学講座 母性看護学各論, 医学書院 ・パーフェクトガイド臨床実習ガイド 母性看護, 照林社 ・母性看護学Ⅱ 周産期各論, 医歯薬出版 ・病気が見える 産科, メディックメディア ・母性・小児看護ぜんぶガイド, プチナース ・雑誌: ペリネイタルケア, 助産雑誌, 妊産婦と赤ちゃんケア		
8	2	3 褥婦の看護過程 (演習) 1) ウェルネスの考え方	【成績評価の方法】 ■ 筆記試験 ■ 演習 ■ ワークへの参加度		
9	2	2) 看護過程の実際			

科 目	精神援助論Ⅱ		担当講師	専任教員 外部講師
学 科 名	学 年	単 位 (時間数)	授業の種類	実 施 時 期
第二看護学科	2 年	1 (30)	講義	令和5年前期

科目目標
 1) 主な精神疾患と検査・治療と看護について理解する。
 2) 精神に障害がある人に特有な症状や行動と看護について理解する。
 3) 精神に障害のある人の日常生活の障害と看護について理解する。
 4) 精神に障害のある人の対象理解と看護を導き出す過程を学ぶ。
 5) 精神に障害のある人の人権擁護と地域での生活を支えるしくみについて理解する。
 6) 精神に障害のある人のと家族への支援について理解する。

授業概要
 精神に障害のある人とその家族の特徴を理解し、看護を実践するための基礎を学ぶ。

回数	時間数	授 業 内 容	回数	時間数	授 業 内 容
1	2	1. 精神障害の病態と治療・検査 (1) 精神障害の分類と診断基準 (2) 精神障害と精神症状 (3) 主な精神疾患の特徴 (4) 主な検査・治療 <担当：精神科医師>	10	2	4. 主な治療を受ける患者の看護 1) 薬物療法と看護 (1) 精神科における薬物療法 (2) 薬物療法を受ける患者の看護 2) その他の治療と看護 (1) リハビリテーション療法 (2) 生活技能訓練 S S T
2	2		11	2	5. 精神科病棟での入院患者の処遇と権利擁護 (1) 行動制限と看護 (2) 代理行為
3	2		12	2	6. 疾患をもつ人の生活と看護 (1) 統合失調症 (2) 双極性障害
4	2		13	2	6. 疾患をもつ人の生活と看護 (3) 摂食障害・薬物依存 (4) 家族への支援
5	2	2. 精神に障害のある人の理解と看護 1) 精神に障害のある人の特徴 2) 精神科看護の特徴 3) 精神状態のアセスメント ①観察の方法と視点 ②精神状態のアセスメント ③情報収集と総合的アセスメント	14	4	7. 精神に障害のある人の暮らしと場の拡大 1) 精神保健医療の歴史と課題 2) 社会資源の活用
6	2	3. 精神に障害がある人の理解と看護の方向性 (看護過程) 1) 事例の全体像把握	【テキスト・参考書】 ◇テキスト 精神看護の基礎 精神看護学① (医学書院) 精神看護の展開 精神看護学② (医学書院) ◇参考文献 ・精神看護学 学生-患者のストーリーで綴る実習展開 (医歯薬出版) ・精神科の薬がわかる本 (医学書院) ・「シリーズ」生活をささえる看護 心を病む人の看護 (中央法規出版) ・新看護観察のキーワードシリーズ 精神科 I・II (中央法規出版)		
7	2	2) 情報整理とアセスメント 常在条件			
8	2	3) アセスメント 病理的状态			
9	2	4) 看護の方向性			
			【成績評価の方法】 ■筆記試験 ■看護過程演習内容		

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員等による授業科目

科 目	成人看護学実習			担当講師	各実習担当教員
学 科 名	学 年	クラス	単位(時間数)	授業の種類	実 施 時 期
第二看護学科	2年	実習G	2(90)	実習	令和5年前期

科目目標

成人各期における健康障害をもつ人を身体・心理・社会的側面から理解し、機能障害によって生じる生活行動の変化に応じた基本的看護が実施できる。

授業概要

病棟へ実習に行き、受け持ち患者との関わりをとおして学ぶ。

回数	時間数	授 業 内 容
1	7.5	1 対象の発達段階に関する観察と判断 2 対象の機能障害に伴う症状の観察と判断と治療の理解 3 対象の機能障害や治療による生活行動（身体・心理・社会）の変化の観察と判断 4 対象の機能障害や健康レベルに応じた看護の実践 5 対象を支える家族への援助
2	7.5	
3	7.5	
4	7.5	
5	7.5	
6	7.5	
7	7.5	
8	7.5	
9	7.5	
10	7.5	
11	7.5	
12	7.5	

【成績評価の方法】

実習評価表に基づいて評価を行う。

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員等による授業科目

科 目	老年看護学実習			担当講師	各実習担当教員
学 科 名	学 年	ク ラ ス	単 位 (時 間 数)	授 業 の 種 類	実 施 時 期
第二看護学科	2年	実習G	2(90)	実習	令和5年前期

科目目標

老年者の加齢変化と健康障害を理解し、その程度に応じた基礎的な看護が実施できる。

授業概要

病棟へ実習に行き、受け持ち患者との関わりをとおして学ぶ。

回数	時間数	授 業 内 容
1	7.5	1 老年者の特徴の総合的理解 2 老年者のQOLをふまえた計画 3 老年者の健康障害や健康レベルに応じた看護実践 4 老いを受け入れていく老年者の理解 5 老年者の家族の理解 6 老年者の療養生活を支えるしくみ
2	7.5	
3	7.5	
4	7.5	
5	7.5	
6	7.5	
7	7.5	
8	7.5	
9	7.5	
10	7.5	
11	7.5	
12	7.5	

【成績評価の方法】

実習評価表に基づいて評価を行う。

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員等による授業科目

科目	小児の保健			担当講師	専任教員
学科名	学年		単位(時間数)	授業の種類	実施時期
第二看護学科	2年		1(45)	実習	令和5年前期・後期
科目目標 発達段階や健康段階に応じた小児やその家族への看護を実践する基礎的能力を養う。 小児の健全な成長・発達の促進, 健康の維持・増進のための援助の実際を知る。					
授業概要 保育所や小児外来へ実習に行き、子どもやその家族の反応をとおして学ぶ。 保育士や外来看護師の関わりをとおして成長・発達を促す看護師の役割について考える。					
回数	時間数	授 業 内 容			
1	7.5	I 保育所実習 (4日間) 1 乳幼児の成長・発達の観察や判断 2 成長・発達を促すための保育や遊びの実際 3 安全教育・安全管理の実際			
2	7.5				
3	7.5				
4	7.5				
5	7.5	II 小児科外来実習 (4日間のうちの2日間) 1 外来診療における看護の実際 2 小児の保健指導の実際 3 社会資源の活用・継続看護の実際			
6	7.5				
【成績評価の方法】 実習評価表に基づいて評価を行う。					

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員等による授業科目

科 目	健康障害のある小児の看護		担当講師	各実習担当教員	
学 科 名	学 年		単位(時間数)	授業の種類	実 施 時 期
第二看護学科	2年		1(45)	実習	令和5年前期・後期

科目目標

発達段階や健康段階に応じた小児やその家族への看護を実践する基礎的能力を養う。
健康障害のある子どもとその家族に対して、発達段階を考慮した健康回復への援助ができる。

授業概要

小児病棟、小児外来へ実習に行き、受け持ち患児やその家族との関わりをとおして学ぶ。

回数	時間数	授 業 内 容
1	7.5	<臨地実習> 病棟実習(4日間) / 外来実習(2日間) 1 症状の観察と判断 2 成長・発達や家族に及ぼす影響の理解 3 健康回復の促進と苦痛症状の緩和への援助 4 発達段階に応じた安全・安楽な日常生活への援助 5 治療への主体的な参加を促すための援助 6 ストレスや不安に対する援助 7 家族への援助
2	7.5	
3	7.5	
4	7.5	
5	7.5	
6	7.5	

【成績評価の方法】

実習評価表に基づいて評価を行う。

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員等による授業科目

科目	妊婦・産婦の看護			担当講師	各実習担当教員
学科名	学年	クラス	単位(時間数)	授業の種類	実施時期
第二看護学科	2年	実習G	1 (45)	実習	令和5年後期
科目目標 妊娠・分娩・産褥各期の母性及び新生児に対して適切な看護を実践する能力を習得する。 正常な妊娠・分娩経過を理解し、妊婦・産婦に必要な援助ができる。					
授業概要 6日間、病棟や母性外来に行き、正常な妊娠経過や診察、妊婦に必要な生活指導など看護の実際を学ぶ。					
回数	時間数	授 業 内 容			
1	7.5	1 妊婦の看護 (1) 正常な妊娠経過の観察 (2) 妊婦の健康診査と診察介助 (3) 妊婦に必要な日常生活指導 (4) 分娩前教育 (5) 妊娠の異常と看護 (6) 社会資源の活用 2 産婦の看護 (1) 母児の健康状態・分娩経過の観察 (2) 産婦の心理状態の観察 (3) 産痛緩和への援助 (4) 日常生活への援助			
2	7.5				
3	7.5				
4	7.5				
5	7.5				
6	7.5				
【成績評価の方法】 実習評価表に基づいて評価を行う。					

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員等による授業科目

科目	褥婦・新生児の看護			担当講師	各実習担当教員
学科名	学年	クラス	単位(時間数)	授業の種類	実施時期
第二看護学科	2年	実習G	1 (45)	実習	令和5年後期
科目目標 妊娠・分娩・産褥各期の母性及び新生児に対して適切な看護を実践する能力を習得する。					
授業概要 6日間病棟に行き、褥婦と新生児の受け持ちをとおして必要な援助を学ぶ。					
回数	時間数	授 業 内 容			
1	7.5	1 褥婦の看護 (1)産褥経過の観察と判断 (2)産褥期の性器及び全身復古への援助 (3)母乳分泌促進への援助 (4)育児技術獲得への援助 (5)母子関係確立への援助 (6)社会資源の活用 2 新生児の看護 (1)新生児の観察と判断 (2)胎外生活適応への援助 (3)育児技術			
2	7.5				
3	7.5				
4	7.5				
5	7.5				
6	7.5				
【成績評価の方法】 実習評価表に基づいて評価を行う。					

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員等による授業科目

科目	精神看護学実習			担当講師	各実習担当教員
学科名	学年	クラス	単位(時間数)	授業の種類	実施時期
第二看護学科	2年	実習G	2(90)	実習	令和5年前期・後期
科目目標 精神に障害のある人のありのままを理解し、特徴に合わせた看護を実践するための基礎的能力を修得する。また、地域で生活する精神に障害のある人の理解を深める。					
授業概要 1. 3日間、精神に障害のある人の就労施設に行き、地域で生活する精神に障害のある人を理解する。 2. 9日間、精神病棟へ実習に行き、受け持ち患者との関わりをとおして学ぶ。					
回数	時間数	授 業 内 容			
1	7.5	1 精神に障害のある人の理解 2 精神症状と看護 3 日常生活の障害と看護 4 治療・検査と看護 5 対人関係の振り返りを通じた必要な看護 6 治療的コミュニケーションを活用した援助 7 地域で生活する精神に障害のある人の理解 8 地域精神保健活動と社会資源の理解			
2	7.5				
3	7.5				
4	7.5				
5	7.5				
6	7.5				
7	7.5				
8	7.5				
9	7.5				
10	7.5				
11	7.5				
12	7.5				
【成績評価の方法】 実習評価表に基づいて評価を行う。					